

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	①離島空港の機能強化及び離島航空路の確保・維持
			施策の小項目名	○離島定期航空路線の確保・維持に向けた空港施設の更新・機能向上
主な取組	離島空港の維持補修・機能向上整備		対応する成果指標	離島空港の年間旅客数
施策の方向	・ 離島航空路の確保と維持に向けて、計画的な空港施設の更新整備と機能向上に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
離島空港において航空機の安全な運航を確保するため、更新等の必要な空港施設の整備を実施する。	県	離島空港施設維持補修、機能向上に係る設計業務、工事の実施		
		各離島空港の維持補修・機能向上整備数(内訳)		
		6空港(継続6空港)	6空港(新規1空港、継続5空港、累計7空港)	6空港(継続6空港、累計7空港)
担当部課【連絡先】	土木建築部空港課	【 098-866-2400 】	関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）							
(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名 公共離島空港整備事業				予算事業名 公共離島空港整備事業			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度			
		主な財源	実施方法	当初予算額			
内閣府計上	直接実施	2,394,101	2,001,026	内閣府計上	直接実施	1,317,200	
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画			
宮古空港簡易式進入灯改良工事、伊江島空港RESA整備工事、南大東空港滑走路改良工事、下地島空港滑走路改良工事 等を行った。				久米島空港RESA実施設計、宮古空港RESA整備工事、与那国空港誘導路灯火工事、下地島空港滑走路改良工事 等を行う。			
活動指標名	各離島空港の維持補修・機能向上整備数（内訳）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		順調
	—	—	6空港（継続6空港）	6空港（継続6空港）	100.0%		
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
令和7年度に予定していた空港においてはおおむね予定通りに進捗したため、順調である。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和7年度の取組改善案				反映状況			
空港施設の適切な管理を実施するため、点検の結果を基に施設の健全度や状況に応じて維持管理更新計画を更新し、これに基づき施設の更新を継続して行っていく。				空港施設の適切な管理を実施するため、令和8年2月までに実施した点検業務等の結果を同年3月までに維持管理・更新計画に反映し、最新の維持管理体制に整えた。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	当該取組は、航空機の安全航行の確保並びに空港施設の適正な管理運営につながることから、計画的な施設の更新を実施するため、点検に基づいた維持管理・更新計画の更新を継続して行う。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	空港施設の適切な管理を実施するため、点検の結果を基に施設の健全度や状況に応じて維持管理更新計画を更新し、これに基づき施設の更新を継続して行っていく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	①離島空港の機能強化及び離島航空路の確保・維持
			施策の小項目名	○各ターミナルビル社による国際線旅客受入体制整備の支援
主な取組	離島拠点空港の国際線受入体制整備の支援		対応する成果指標	離島空港の年間旅客数
施策の方向	・ 離島空港の機能充実のため、新石垣空港、下地島空港において、各ターミナルビル社による国際線旅客受入体制整備に係る取組を支援します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
CIQ常設に向けた検疫指定を目指すために国へ要望するとともに国際線就航に備えた働きかけを行っていく。	国,県,民間等	検疫指定に向けた関係機関調整、要請		
		CIQ常設に向けた関係機関との調整・要請回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部空港課	【 098-866-2400 】	関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

離島拠点空港の国際線受入体制整備の支援

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

—

—

令和7年度活動内容

下地島空港のCIQ常設化に向けて、各CIQを所管する大臣あての要請を沖縄地区税関長・那覇検疫所長・福岡出入国在留管理局那覇支局長へ行った。

予算事業名

離島拠点空港の国際線受入体制整備の支援

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

令和8年度活動計画

下地島空港のCIQ常設化に向けて関係機関と調整を行う。また、常設化されるまで、国際線就航等の乗り入れ毎に検疫所へ業務の協力要請を行う。

活動指標名

CIQ常設に向けた関係機関との調整・要請回数（累計）

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

—

—

3回

1回

100.0%

順調

国へCIQの「審査体制の強化」および「指定港化」の要望を計3回行った。なお、国際線就航にあたり、那覇検疫所平良出張所へ検疫業務の協力要請を22回行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

検疫所への協力要請により定期便及びチャーター便の受入れが行われ、令和7年度の国際線旅客数は前年度比約3万8千人（60%）増加の10万2千人（速報値）となり、CIQ常設の必要性が高まった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

国際線定期便の運航再開や新規路線の就航もあることから、引き続き、下地島空港の指定港化について、国へ要望する。また、国際線の就航があるごとに検疫所へ協力要請を行い、実績を積み重ねていく。

令和7年度は、下地島空港での国際線の就航にあたり、那覇検疫所平良出張所へ業務の協力要請を22回行い、検疫業務が実施されることで国際線の就航ができた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	全国的に訪日外国人観光客数はコロナ禍を上回っている。 下地島空港においては韓国路線が就航しており、CIQの常設化及び運営体制の強化に向け、さらにCIQ官署への働きかけに取り組む必要がある。	⑧ その他	引き続き、下地島空港の指定港化について、国へ要望するとともに、国際線定期便等の受入れ実績を増やしていく。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	①離島空港の機能強化及び離島航空路の確保・維持
			施策の小項目名	○離島発着航空路線の維持・拡充
主な取組	伊平屋空港の整備		対応する成果指標	離島空港の年間旅客数
施策の方向	・過去に廃止された石垣拠点の２路線や那覇・粟国路線の継続運航、伊平屋空港の整備・路線開設に関する諸課題の解決に取り組むなど、離島発着航空路線の維持・拡充に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
伊平屋・伊是名地域における生活利便性の向上、特色を活かした産業の振興、持続可能な離島地域社会の実現を図るため、空港整備に取り組む。	国,県	新規事業化へ向けた関係者調整		
		関係者調整回数(累計)		
		4回	4回(8回)	4回(12回)
担当部課【連絡先】	土木建築部空港課		【 098-866-2400 】	関連URL
				—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名				—		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画		
就航予定航空会社の確保に向け、航空会社等と意見交換を行い、伊平屋村・伊是名村と連携して空港整備に向けて取り組みを進めた。				引き続き、就航予定航空会社の確保に向け、航空会社等と意見交換を行い、伊平屋村・伊是名村と連携して空港整備に向けた取り組みを進める。		

活動指標名	関係者調整回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	4回	4回	100.0%	順調	就航予定航空会社の確保に向け、航空会社等と意見交換を行い、伊平屋村・伊是名村と連携して空港整備に向けて取り組んだ。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
就航予定航空会社の確保に向け、伊平屋村・伊是名村・航空会社と適宜意見交換を行っており、目標回数を達成していることから、順調と判断した。伊平屋空港を整備することにより、那覇市等の中心都市へおおむね1時間以内の移動が確保でき、伊平屋村や伊是名村における生活利便性向上が見込まれる。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和7年度の取組改善案				反映状況			
○就航意向の取り付けや費用対効果の確保に向け、伊平屋村・伊是名村と連携強化しつつ、継続して航空会社と意見交換を実施し、空港整備に向けた取り組みを進める。				就航意向取付に向け、伊平屋村と連携して航空会社との意見交換を引き続き実施し、費用対効果の確保に要する検討材料についても情報収集した。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	費用対効果の確保において、航空機の就航や航空需要の減少を抑制するための施策展開等の確保が課題である。	⑦ 取組の時期・対象 の改善	引き続き、就航意向の取り付けや費用対効果の確保に向け、伊平屋村・伊是名村と連携強化しつつ、継続して航空会社と意見交換を実施し、空港整備に向けた取り組みを進める。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	②離島港湾の機能強化及び安全で安定した海上交通の確保・維持
			施策の小項目名	○総合的な離島港湾機能の強化・拡充
主な取組	離島港湾整備事業		対応する成果指標	離島港湾における定期航路の数
施策の方向	・港湾等については、海上交通の安全性・安定性の確保、輸送需要の増大と輸送形態の効率化、産業・観光振興、防災・減災対策、ユニバーサルデザイン、AI、IoTを活用したスマートポート化への対応など、ハード・ソフトの両面から総合的な港湾機能の強化・拡充に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
離島港湾において、港内の静穏度向上などにより、離島間の連絡船や小型船の港内における安全な航行、係留および保管能力の向上が図られるよう、港湾施設の整備を実施する。	県	港湾施設の整備(水域、外郭、係留、臨港交通施設等の整備)		
		港湾施設の整備が完了した港湾数(事業単位)(累計)		
		0港	2港(2港)	1港(3港)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課		【 098-866-2395 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	港湾改修費、社会資本整備総合交付金（港湾）、沖縄振興公共投資交付金（港湾）			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
内閣府計上	直接実施	1,347,795	1,826,205	

令和7年度活動内容

県管理の11港湾において防波堤等の整備を実施した。

(単位：千円)

予算事業名	港湾改修費、社会資本整備総合交付金（港湾）、沖縄振興公共投資交付金（港湾）		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
内閣府計上	直接実施	2,147,235	

令和8年度活動計画

県管理の14港湾において防波堤等の整備を実施する。

活動指標名	港湾施設の整備が完了した港湾数（事業単位）（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	0港	0 港	0.0%	順調	水納港（本部町）、兼城港、前泊港、南大東港、北大東港等において、防波堤や物揚場等の港湾施設整備を実施した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
県管理11港湾において施設整備を進めており、令和8年度中の施設整備完了に向けて事業進捗が図られたことから、進捗は順調とした。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○工事の発注においては、引き続き適切な不調・不落対策を講じる等して、施設整備の推進を図っていく。 ○海域利用者の多い港湾については特に徹底した濁水流出防止対策を講じるとともに、海水浴客の多い時期には施工をしないなど、周辺環境へ配慮した港湾施設整備に取り組む。	○工事の発注にあたっては、余裕工期の設定や発注規模の見直し等の不調・不落対策を講じることにより、施設整備の推進を図った。 ○事業の実施にあたっては、港湾利用者等と調整し、利便性や安全性に配慮した施工計画、工程管理により事業を実施している。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	本県においては、大規模地震発生時に港湾が支援物資等の受入拠点として活用されるため、離島における耐震強化岸壁の整備を推進する必要がある。	① 執行体制の改善	離島における耐震強化岸壁の整備推進に向けて、必要な作業船の確保に向けた関係機関との調整や、工事の不調・不落が生じないような発注計画の検討を行う。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	工事期間中は、定期船などの港湾利用者の利便性や安全性に配慮しながら施工する必要がある。	② 連携の強化・改善	港湾利用者の利便性や安全性に配慮した施工計画の立案、工程管理を実施する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	②離島港湾の機能強化及び安全で安定した海上交通の確保・維持
			施策の小項目名	○総合的な離島港湾機能の強化・拡充
主な取組	離島港湾の利便性向上推進事業		対応する成果指標	離島港湾における定期航路の数
施策の方向	・港湾等については、海上交通の安全性・安定性の確保、輸送需要の増大と輸送形態の効率化、産業・観光振興、防災・減災対策、ユニバーサルデザイン、AI、IoTを活用したスマートポート化への対応など、ハード・ソフトの両面から総合的な港湾機能の強化・拡充に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
離島にとって港湾は島民の生活物資等を取り扱うことから、生活に密着した社会資本の一つである。本事業においては天候に左右されず生活物資の受け渡しが可能な屋根付き荷捌き施設を整備する。	県	港湾利用者の利便性や、快適な移動動線を確保するための離島航路港湾の施設整備		
		利便性向上を推進した港湾数(累計)		
		1港	1港(2港)	1港(3港)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課		【 098-866-2395 】	関連URL
				—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

離島港湾の利便性向上推進事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

直接実施

0

0

令和7年度活動内容

工事発注に2回取り組んだ。

予算事業名

離島港湾の利便性向上推進事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

直接実施

56,827

令和8年度活動計画

屋根付き荷捌き施設1港の整備および1港の設計を行う。

活動指標名

利便性向上を推進した港湾数
(累計)

R5年度

R6年度

R7年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

進捗状況

大幅遅れ

活動概要

実績値

—

—

0.2港

1港

20.0%

天候に左右されず生活物資の受け渡し可能な
屋根付き荷捌き施設を整備する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

1港の整備を目標としていたが、入札手続きを行った結果、2回の不調となった。
発注業務に取り組んでいるため0.2港の実績とし、大幅遅れとした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○設計段階から地元市町村や港湾利用者と意見交換の場を設け合意形成を図り、円滑に利便性の高い施設を整備する。
また、工事発注に伴い、幅広く業者を選定するとともに、公告情報の周知を多く行う。

○第1回目の入札が不調となったことに伴い、業者ランクを広げたり、公告情報の周知する等の対応をしたが応札者はなしとなった。今後は各関係者にヒアリングを行うとともに発注時期の見直しを検討していく。

- 14 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑥ 他地域等の動向 （外部環境の変化）	地元自治体の政策や観光客等を含む港湾利用者数の今後の見通し等を留意しながら、貨物量を設定し施設を検討する必要がある。	⑦ 取組の時期・対象 の改善	関係者にヒアリングを行い、現状の貨物量や今後の見通し、港湾の活用計画を年度当初で把握し、早期発注を行うことで、施設整備の進捗改善に取り組む。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	③地域特性に応じた島内移動手段の確保
			施策の小項目名	○離島の地域特性に応じた移動環境の創出
主な取組	離島の道路・街路整備事業（県管理道路）		対応する成果指標	離島における乗合バス利用者数
施策の方向	・ 空港、港湾・漁港等の交通拠点間を相互に連結させるため、離島の地域特性に応じた道路整備を推進するとともに、MaaSや自動運転技術等の新技術の活用を含め、島内移動手段のシームレスな連携接続に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
空港、港湾・漁港等の交通拠点間を相互に連結させるため、離島の地域特性に応じた道路整備を推進する。	県	平良下地島空港線線、マクラム通り線、石垣空港線等の整備		
		整備済延長(累計)		
		整備実施	0.1km(0.1km)	1.4km(1.5km)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL —

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	沖縄振興公共投資交付金事業費（道路）			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
一括交付金 （ハード）	直接実施	998,008	1,123,696	
令和7年度活動内容				
石垣空港線（工事等）、平良下地島空港線（工事等）等の道路整備の実施。				
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金事業費（街路）			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
一括交付金 （ハード）	直接実施	205,926	83,800	
令和7年度活動内容				
マクラム通り線（工事等）、市場通り線（工事等）等の街路整備の実施。				

(単位：千円)

予算事業名	沖縄振興公共投資交付金事業費（道路）		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 （ハード）	直接実施	1,689,993	
令和8年度活動計画			
石垣空港線（工事等）、下地島空港佐良浜線（用地補償等）等の道路整備の実施。			
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金事業費（街路）		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 （ハード）	直接実施	251,556	
令和8年度活動計画			
マクラム通り線（用地補償等）、市場通り線（工事等）等の街路整備の実施。			

活動指標名	整備済延長（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	整備実施	整備実施	0.0%	順調	道路整備事業および街路整備事業における対象路線の平良下地島空港線、マクラム通り線、石垣空港線等の工事および用地補償等を実施した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
道路整備事業および街路整備事業の対象路線の整備を実施しており、目標値を達成したことから、取組は順調と判定した。 引き続き、離島内の空港、港湾・漁港等の交通拠点間を相互に連結し、地域特性に応じた道路および街路整備事業を推進する。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
補正予算の積極的な要望を行うとともに、執行会議において工事進捗に向けた課題の共有を図る。	定期的に本庁、各土木事務所と執行も含めた会議を開催したほか、適宜、対象路線に関する調整を実施するなど、用地取得に関する現状および課題等の把握に努めた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	令和7年度までの進捗状況が順調であることから、対象路線の早期の効果発現に向けて、支障となる課題等の把握とその解決手法を検討するため、各土木事務所との連携の強化を図っていく必要がある。	① 執行体制の改善	各土木事務所との執行会議等を開催し、対象路線の整備における課題や工程の共有を実施するなど、早期の効果発現に向けての事業進捗を図る。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	③地域特性に応じた島内移動手段の確保
			施策の小項目名	○離島における道路橋梁の計画的な維持管理、補修・補強及び更新
主な取組	橋梁長寿命化修繕事業（県道等）		対応する成果指標	離島における乗合バス利用者数
施策の方向	・ 離島の道路橋梁については、地域特性に応じた整備と計画的な維持管理、補修・補強及び更新に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
離島の県管理道路における橋梁は、その大部分が復帰後に建設されたものである。今後老朽化・劣化の進行する橋梁に対し、「沖縄県橋梁長寿命化修繕計画」に基づき長寿命化を図るとともに災害等緊急時の輸送道路の確保等、安全で安心な道路ネットワークの形成を図る。	県	離島橋梁の定期点検・修繕・耐震補強・更新の実施		
		定期点検・修繕・耐震補強・更新箇所数(内訳)		
		4箇所(継続4箇所)	4箇所(継続4箇所)	4箇所(継続4箇所)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課		【 098-866-2665 】	関連URL —

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

道路防災保全事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ハード)

直接実施

720, 081

733, 746

令和7年度活動内容

県管理道路（補助国道、県道）における道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新（3箇所）を実施した。

予算事業名

道路メンテナンス事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

内閣府計上

直接実施

751, 808

642, 937

令和7年度活動内容

県管理道路（補助国道、県道）における道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新（2箇所）を実施した。

予算事業名

道路防災保全事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ハード)

直接実施

1, 220, 600

令和8年度活動計画

県管理道路（補助国道、県道）における道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新（4箇所）を実施する。

予算事業名

道路メンテナンス事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

内閣府計上

直接実施

983, 186

令和8年度活動計画

県管理道路（補助国道、県道）における道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新（4箇所）を実施する。

活動指標名

定期点検・修繕・耐震補強・更新箇所数（内訳）

R5年度

R6年度

実績値

—

—

4箇所

R7年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

4箇所

4箇所（継続4箇所）

100. 0%

進捗状況

順調

活動概要

県管理道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新を4ヵ所実施した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
定期点検・修繕・耐震補強・更新箇所数については、計画4カ所に対し、実施4カ所であり、「順調」であった。 県管理道路橋の長寿命化を図るとともに、安全で安心な道路ネットワークの形成に向けて取り組んだ。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○引き続き、平成26年度から実施している法律に基づく定期点検を実施し、すべての県管理道路橋の点検結果を記録・把握する。 ○防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に伴う国の補正予算を活用し、事業のさらなる推進を図る。 ○新技術の活用や施設の集約化に関する方針について検討する。	○県管理道路橋の定期点検を実施した。（計画2カ所→実施2カ所） ○防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に伴う国の補正予算を活用し、事業のさらなる推進を図った（計画2カ所→実施2カ所） ○橋梁集約化・撤去に関するコスト縮減効果を整理の上、沖縄県長寿命化修繕計画（橋梁）を改定した。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	・離島における県管理道路橋の多くが復帰後に建設されている。今後、修繕費の増大が予測されることから、最も効率的・効果的な維持修繕を行わなければならない。	⑥ 変化に対応した取組の改善	・引き続き、平成26年度から実施している法律に基づく定期点検を実施し、すべての県管理道路橋の点検結果を記録・把握する。 ・点検結果は、道路メンテナンス会議において他の道路管理者と共有を図る。
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	・道路法令の改正により、道路橋の定期点検（5年に1回）の実施が定められた。 ・防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に伴い、予防保全型による老朽化対策が見込まれる。	⑥ 変化に対応した取組の改善	・沖縄県長寿命化修繕計画（橋梁）に、橋梁集約化・撤去に関する内容を追加し、より効率的・効果的に事業を推進する。
⑦ その他内部要因（改善余地の検証等）	・定期点検（1回／5年）を実施することで、健全度の経年変化を記録・把握する必要がある。 ・効率的・効果的な事業の実施のため、コスト縮減に関する具体的な方針について検討する。	⑥ 変化に対応した取組の改善	・新技術を積極的に活用し、より効率的・効果的に事業を推進する。